（添付書類）経営要件を満たすことを示す資料

学校コード		学校名	
設置者名	学校法人菅原学園		

Ⅰ．①直前３年度の決算の事業活動収支計算書における「経常収支差額」の状況

	経常収入(A)	経常支出(B)	差額(A)-(B)
申請前年度の決算	4,242,397,410円	3,775,496,316円	466,901,094円
申請２年度前の決算	3,539,172,613円	3,580,421,455円	-41,248,842円
申請３年度前の決算	3,591,909,334円	3,554,097,129円	37,812,205円

Ⅰ．②直前の決算の貸借対照表における「運用資産－外部負債」の状況

	運用資産(C)	外部負債(D)	差額(C)-(D)
申請前年度の決算	2,141,979,893円	7,304,192,255円	-5,162,212,362円

Ⅱ．申請校の直近３年度の収容定員充足率の状況

	収容定員(E)	在学生等の数(F)	収容定員充足率(F)/(E)
今年度（申請年度）	人	人	%
前年度	人	人	%
前々年度	人	人	%

大学・短期大学・高等専門学校で、Ⅱ．申請校の直近３年度の全ての収容定員充足率が８割未満の場合
申請前年度に当該学校を卒業した者について、今年度（申請年度）５月１日時点の状況について
（Ａ）又は（Ｂ）のいずれかを記載

・申請校の直近の進学・就職率の状況（Ａ）学校基本統計を利用する場合

	卒業者数(G)	進学者数＋就職者数(H)	進学・就職率(H)/(G)
申請前年度の状況	人	人	%

・申請校の直近の進学・就職率の状況（Ｂ）学校基本統計を利用しない場合

	進学希望者＋就職希望者(I)	進学者数＋就職者数(J)	進学・就職率(J)/(I)
申請前年度の状況	人	人	%

（Ⅰ．②の補足資料）「運用資産」又は「外部負債」として計上した勘定科目一覧

○「運用資産」に計上した勘定科目

勘定科目の名称	資産の内容	申請前年度の決算における金額
有価証券	債権103,017,666円,時価のない有価証券214,100,001円	317,117,667円
保育所繰越積立金	預金181,000,000円	181,000,000円
現金預金	現金505,900円,預金1,643,356,326円	1,643,862,226円

○「外部負債」に計上した勘定科目

勘定科目の名称	負債の内容	申請前年度の決算における金額
長・短借入金	長期6,608,974,939円,短期335,508,000円	6,944,482,939円
長期未払金	リース契約、割賦契約1年超支払分169,345,550円	169,345,550円
未払金	期末未払金190,363,766円	190,363,766円

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。

様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	専門学校デジタルアーツ仙台
設置者名	学校法人　菅原学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
工業専門課程	応用情報システム科	夜・通信	138 単位	10 単位 (240 時間)	
	IT ソリューション科	夜・通信	97 単位	7 単位	
	イラスト･マンガアニメ科 イラスト・マンガ専攻	夜・通信	82 単位	7 単位	
	イラスト･マンガアニメ科 アニメーター専攻	夜・通信	79 単位	7 単位	
	ゲームクリエイター科 ゲームプランナー専攻	夜・通信	156 単位	10 単位 (240 時間)	
	ゲームクリエイター科 ゲームプログラマ専攻	夜・通信	144 単位	10 単位 (240 時間)	
	ＣＧクリエイター科 ＣＧ動画クリエイター専攻	夜・通信	80 単位	7 単位	
	ＣＧクリエイター科 ３Ｄモデラー専攻	夜・通信	82 単位	7 単位	
	デザイン科 Web デザイン専攻	夜・通信	78 単位	7 単位	
	デザイン科 グラフィックデザイン専攻	夜・通信	82 単位	7 単位	
	デザイン科 映像デザイン専攻	夜・通信	74 単位	7 単位	
文化・教養専門課程	ミュージックスタッフ科 コンサートプロデュース専攻	夜・通信	81 単位	7 単位	
	ミュージックスタッフ科 舞台美術照明専攻	夜・通信	94 単位	7 単位	
	ミュージックスタッフ科 PA エンジニア専攻	夜・通信	76 単位	7 単位	

	ミュージックスタッフ科 レコーディング・MA 専攻	夜・通信	84 単位	7 単位	
	声優科	夜・通信	36 単位	4 単位	

（備考）
(　)内の数字は「学校教育法施行規則等の附則第 2 条（経過措置）」に基づき「実務経験のある教員等による授業科目の単位数」について用いる授業時数を記載している。

「声優科」は令和 8 年度から募集停止のため 2 年生のみ在籍。

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

シラバスで確認
https://das.ac.jp/schoolinfo/shugaku/

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	
設置者名	学校法人菅原学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ http://www.sugawara.ac.jp/

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	会社役員	2026年6月1日 ～ 令和 12 年度定時評議員会終結のときまで	学園の経営計画全般について的確なアドバイス
非常勤	会社役員	2026年6月1日 ～ 令和 12 年度定時評議員会終結のときまで	学園予算について財務運営上の的確なアドバイス
非常勤	会社役員	2025年4月1日 ～ 令和9年度定時評議員会終結のときまで	学園事業計画と事業構想についての的確なアドバイス
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校デジタルアーツ仙台
設置者名	学校法人菅原学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書（シラバス）を作成し、公表していること。
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） ・実施前年度に外部委員を含む教育課程編成委員会を開催し、委員会の意見等を反映し、９月に変更箇所があれば県へ学則変更を届け出て、教育課程を確定する。 ・授業方法・内容（使用教科書等含）について確認・検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、実施する前年度中に行う。 ・シラバスを年度の授業開始１時間目に学生に示し、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持って計画的に学習に取組めるようにする。 ・シラバスには以下の情報を記載する。 授業科目名、授業担当者、授業担当者の実務経験の有無、教科書名、単位数、時間数、開講（学科、学年、学期、科目種別）、授業方法、授業概要、学習到達目標、評価方法、スケジュール（時数、授業内容、到達目標・学習課題）

授業計画書の公表方法	ホームページ https://das.ac.jp/schoolinfo/shugaku/

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） ・学年末において、各学期末に行う試験、課題の成果、履修状況等を総合勘案して行う。評価結果の示しかたは 100 点法とし 50 点以上を合格とする。合格者に対して当該科目の修了を認定する。また、各学科の授業科目について、出席時間数が４分の３に満たない者は、当該科目の履修の認定はしない。 ・各教科目の評価結果に基づきの、成績評価はＡ、Ｂ、Ｃ、Ｄの４段階で判定し、Ｃ以上を合格とする。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） ※ＧＰＡは導入していない。 ・成績管理には学園システムを使用し、各科目担当者より提出された評価結果をクラス担任が入力している。 ・入力された各科目の評価結果から、学科ごと学年別（全学科各学年１クラス編成）に成績一覧表を作成する。その際、個人の各教科の評価結果から平均点を算出し一覧に表示している。 ・学科ごとに全体の傾向を把握するために、個人の平均点を用いて度数分布表を作成している。 ・専門学校である本校では、優れた成績を得ることと、目指す職種に必要となる資格を取得し、就職することが目標となる中で、個々の成績平均値から学生の学習到達状況を把握している。 ・なお、評価結果については個人ごとに通知するとともに保護者への通知も行っている。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページ https://das.ac.jp/schoolinfo/shugaku/
４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） ディプロマ・ポリシー〉 卒業認定方針として、各科所定の修業年限以上在籍し，以下のような能力を身につけ課程を修了したと認定されたものに卒業を認め，専門士の称号を付与する。 ・目指す職業に求められる知識・技術を身につけ，その資格を有している。 ・基本的な生活習慣および人間力を身につけている。 ・自他を理解し、職場や地域社会に適応し，活躍出来る社会人基礎力を身につけている。 〈卒業の認定〉 ・授業科目の成績評価に基づいて、校長は課程修了の判定を行い、所定の在学年限以上在学し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	ホームページ https://das.ac.jp/schoolinfo/shugaku/

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	
設置者名	学校法人菅原学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ http://www.sugawara.ac.jp/
収支計算書又は損益計算書	ホームページ http://www.sugawara.ac.jp/
財産目録	ホームページ http://www.sugawara.ac.jp/
事業報告書	ホームページ http://www.sugawara.ac.jp/
監事による監査報告（書）	ホームページ http://www.sugawara.ac.jp/

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
工業		工業専門課程	応用情報システム科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	125単位	58単位	67単位			
			125単位				

学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
60人	14人	0人	3人	13人	16人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・企業委員も含む教育編成会議を実施して教育内容を検討する。 ・実施前年度9月に変更があれば県へ学則変更を届け出て教育課程を確定する。 ・授業方法・内容（使用教科書等含）について確認・検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、実施する前年度中に行う。 ・シラバスを示し、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持って計画的に学習に取組めるようにする。
成績評価の基準・方法
（概要） 実技試験、筆記試験、出席率、通常授業態度等を総合的に評価し、5割以上の評価（C段階以上）で単位取得とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） ・各授業科目において4分の3以上の出席をすること。 ・一般教養科目、専門教育科目の必修科目を履修すること。 ・卒業・進級判定会議において卒業・進級に相応しいと判断された者。
学修支援等

（概要）
・担任との個別面談
・専門のカウンセラーによるカウンセリング

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 （0%）	0 人 （　　0%）	0 人 （　　0%）	0 人 （　　0%）
（主な就職、業界等） ＊令和 8 年度に卒業生を輩出予定			
（就職指導内容） 模擬面接、履歴書作成指導、適性試験対策指導、関連業界企業による業界説明会　等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 基本情報技術者、ＩＴパスポート、情報検定（J 検） ビジネス能力検定ジョブパス、簿記検定　など			
（備考）（任意記載事項） 「専修学校設置基準の一部を改正する省令附則第 2 条」に基づき令和 7 年度以前に入学した在学者については、なお従前の例により、修了要件を令和 6 年度入学生は総授業時数 2760 単位時間、令和 7 年度入学生は総授業時数 2910 単位時間として、それぞれ教育課程を編成・実施しています。 「令和 6 年度から修業年限を 2 年から 3 年に変更し完成年度に達していないため卒業者のデータなし。」			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
8 人	1 人	12.5%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・定期的に保護者宛に出席状況の文書を発送している。 ・出席不良になる手前での面談（担任および課長、副校長）を実施。 また欠席時の保護者への連絡等を密におこない、家庭での声掛けなども含め、 学校保護者間とで状況を把握している。 ・学生アンケートを実施している。		

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td>専門士</td><td colspan="2">高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">工業</td><td>工業専門課程</td><td colspan="2">IT ソリューション科</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2 年</td><td rowspan="2">昼間</td><td rowspan="2">93 単位</td><td>54 単位</td><td>39 単位</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">93 単位</td></tr>
</table>

学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40 人	10 人	1 人	3 人	11 人	14 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
・企業委員も含む教育編成会議を実施して教育内容を検討する。
・実施前年度 9 月に変更があれば県へ学則変更を届け出て教育課程を確定する。
・授業方法・内容（使用教科書等含）について確認・検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、実施する前年度中に行う。
・シラバスを示し、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持って計画的に学習に取組めるようにする。

成績評価の基準・方法

（概要）
実技試験、筆記試験、出席率、通常授業態度等を総合的に評価し、5 割以上の評価（C 段階以上）で単位取得とする。

卒業・進級の認定基準

（概要）
・各授業科目において 4 分の 3 以上の出席をすること。
・一般教養科目、専門教育科目の必修科目を履修すること。
・卒業・進級判定会議において卒業・進級に相応しいと判断された者。

学修支援等

（概要）
・担任との個別面談
・カウンセラーによるカウンセリングの実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
5 人（100%）	0 人（0%）	5 人（100%）	0 人（0%）

（主な就職、業界等）
システム開発、インフラ系他、ＩＴ関連企業
他、ＩＴ関連企業

（就職指導内容）
模擬面接、履歴書作成指導、適性試験対策指導、関連業界企業による業界説明会 等

（主な学修成果（資格・検定等）） 基本情報技術者、ＩＴパスポート、情報検定（Ｊ検） ビジネス能力検定ジョブパス、簿記検定　など
（備考）（任意記載事項） 「専修学校設置基準の一部を改正する省令附則第 2 条」に基づき令和 7 年度入学の在学者については、なお従前の例により、修了要件を総授業時数 2070 時間として教育課程を編成・実施しています。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14 人	1 人	7.1%
（中途退学の主な理由） 家庭の経済的事由		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・定期的に保護者宛に出席状況の文書を発送している。 ・出席不良になる手前での面談（担任および課長、副校長）を実施。 また欠席時の保護者への連絡等を密におこない、家庭での声掛けなども含め、 学校保護者間とで状況を把握している。 ・学生アンケートを実施している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	文化教養課程	ミュージックスタッフ科 コンサートプロデュース専攻	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼間	９１単位	２８単位	２０単位	４３単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			９１単位				

学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
120 人	107 人	0 人	6 人	14 人	20 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

・企業委員も含む教育編成会議を実施して教育内容を検討する。
・実施前年度９月に変更があれば県へ学則変更を届け出て教育課程を確定する。
・授業方法・内容（使用教科書等含）について確認・検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、実施する前年度中に行う。
・シラバスを示し、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持って計画的に学習に取組めるようにする。

成績評価の基準・方法

（概要）

実技試験、筆記試験、出席率、通常授業態度等を総合的に評価し、5 割以上の評価（C 段階以上）で単位取得とする。

卒業・進級の認定基準

（概要）

・各授業科目において 4 分の 3 以上の出席をすること。
・一般教養科目、専門教育科目の必修科目を履修すること。
・卒業・進級判定会議において卒業・進級に相応しいと判断された者。

学修支援等

（概要）

・担任、学科長との個別面談
・カウンセラーによるカウンセリングの実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
54 人 (100%)	0 人 (　　%)	43 人 (　　79.6%)	11 人 (　　20.4%)

（主な就職、業界等）

いわき芸術文化交流館アリオス、株式会社　創芸企画、共同エンジニアリング株式会社

（就職指導内容）

模擬面接，履歴書作成指導，適性試験対策指導，　関連業界企業による業界説明会

（主な学修成果（資格・検定等）） 舞台機構調整技能士、ビジネス能力検定ジョブパス
（備考）（任意記載事項） 『生徒実員』、卒業者数の割合及び中途退学者数の割合はミュージックスタッフ科全体の情報です。 「専修学校設置基準の一部を改正する省令附則第２条」に基づき令和７年度入学の在学者については、なお従前の例により、修了要件を総単位数９１単位として教育課程を編成・実施しています。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
109 人	5 人	4.5%
（中途退学の主な理由） 進路変更、精神的理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・定期的に保護者宛に出席状況の文書を発送している。 ・出席不良になる手前での面談（担任または課長、副校長）を実施。また欠席時の保護者への連絡等を密に行い、家庭での声掛けなども含め学校保護者間とで状況を把握 している。 ・学生アンケートを実施している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	文化教養課程	ミュージックスタッフ科 舞台美術照明専攻	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼間	８６単位	２４単位	１２単位	５０単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			８６単位				

学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
120 人	107 人	0 人	6 人	14 人	20 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
・企業委員も含む教育編成会議を実施して教育内容を検討する。
・実施前年度９月に変更があれば県へ学則変更を届け出て教育課程を確定する。
・授業方法・内容（使用教科書等含）について確認・検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、実施する前年度中に行う。
・シラバスを示し、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持って計画的に学習に取組めるようにする。

成績評価の基準・方法

（概要）
実技試験、筆記試験、出席率、通常授業態度等を総合的に評価し、5 割以上の評価（C 段階以上）で単位取得とする。

卒業・進級の認定基準

（概要）
・各授業科目において 4 分の 3 以上の出席をすること。
・一般教養科目、専門教育科目の必修科目を履修すること。
・卒業・進級判定会議において卒業・進級に相応しいと判断された者。

学修支援等

（概要）
・担任、学科長との個別面談
・カウンセラーによるカウンセリングの実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
54 人 (100%)	0 人 (　　%)	43 人 (　　%)	11 人 (　　%)

（主な就職、業界等）
株式会社　三光、株式会社　東北共立、株式会社パシフィックアートセンター

（就職指導内容）
模擬面接，履歴書作成指導，適性試験対策指導，　関連業界企業による業界説明会

（主な学修成果（資格・検定等））
舞台機構調整技能士、ビジネス能力検定ジョブパス

（備考）（任意記載事項）
『生徒実員』、卒業者数の割合及び中途退学者数の割合はミュージックスタッフ科全体の情報です。
「専修学校設置基準の一部を改正する省令附則第２条」に基づき令和７年度入学の在学者については、なお従前の例により、修了要件を総単位数８６単位として教育課程を編成・実施しています。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
109 人	5 人	4.5%
（中途退学の主な理由） 進路変更、精神的理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・定期的に保護者宛に出席状況の文書を発送している。 ・出席不良になる手前での面談（担任または課長、副校長）を実施。また欠席時の保護者への連絡等を密に行い、家庭での声掛けなども含め学校保護者間とで状況を把握 している。 ・学生アンケートを実施している。		

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td>専門士</td><td>高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">文化・教養</td><td>文化教養課程</td><td colspan="2">ミュージックスタッフ科
PA エンジニア専攻</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">２年</td><td rowspan="2">昼間</td><td rowspan="2">８２
単位</td><td>２８
単位</td><td>１２
単位</td><td>４２
単位</td><td>単位時間
/単位</td><td>単位時間
/単位</td></tr>
<tr><td colspan="5">８２単位</td></tr>
</table>

学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
120 人	107 人	0 人	6 人	14 人	20 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

・企業委員も含む教育編成会議を実施して教育内容を検討する。
・実施前年度９月に変更があれば県へ学則変更を届け出て教育課程を確定する。
・授業方法・内容（使用教科書等含）について確認・検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、実施する前年度中に行う。
・シラバスを示し、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持って計画的に学習に取組めるようにする。

成績評価の基準・方法

（概要）

実技試験、筆記試験、出席率、通常授業態度等を総合的に評価し、5 割以上の評価（C 段階以上）で単位取得とする。

卒業・進級の認定基準

（概要）

・各授業科目において 4 分の 3 以上の出席をすること。
・一般教養科目、専門教育科目の必修科目を履修すること。
・卒業・進級判定会議において卒業・進級に相応しいと判断された者。

学修支援等

（概要）

・担任、学科長との個別面談
・カウンセラーによるカウンセリングの実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
54 人 (100%)	0 人 (　　%)	43 人 (　　%)	11 人 (　　%)

（主な就職、業界等）

MSI JAPAN ホールディングス、株式会社アットサウンドカンパニー、株式会社サウンドクルー

（就職指導内容）

模擬面接，履歴書作成指導，適性試験対策指導，　関連業界企業による業界説明会

（主な学修成果（資格・検定等）） 舞台機構調整技能士、ビジネス能力検定ジョブパス
（備考）（任意記載事項） 『生徒実員』、卒業者数の割合及び中途退学者数の割合はミュージックスタッフ科全体の情報です。 「専修学校設置基準の一部を改正する省令附則第２条」に基づき令和７年度入学の在学者については、なお従前の例により、修了要件を総単位数８６単位として教育課程を編成・実施しています。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
109 人	5 人	4.5%
（中途退学の主な理由） 進路変更、精神的理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・定期的に保護者宛に出席状況の文書を発送している。 ・出席不良になる手前での面談（担任または課長、副校長）を実施。また欠席時の保護者への連絡等を密に行い、家庭での声掛けなども含め学校保護者間とで状況を把握 している。 ・学生アンケートを実施している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	文化教養課程	ミュージックスタッフ科 レコーディング・MA 専攻	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼間	９０単位	２４単位	２０単位	４６単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			９０単位				

学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
120 人	107 人	0 人	6 人	14 人	20 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
・企業委員も含む教育編成会議を実施して教育内容を検討する。
・実施前年度９月に変更があれば県へ学則変更を届け出て教育課程を確定する。
・授業方法・内容（使用教科書等含）について確認・検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、実施する前年度中に行う。
・シラバスを示し、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持って計画的に学習に取組めるようにする。

成績評価の基準・方法

（概要）
実技試験、筆記試験、出席率、通常授業態度等を総合的に評価し、5 割以上の評価（C 段階以上）で単位取得とする。

卒業・進級の認定基準

（概要）
・各授業科目において 4 分の 3 以上の出席をすること。
・一般教養科目、専門教育科目の必修科目を履修すること。
・卒業・進級判定会議において卒業・進級に相応しいと判断された者。

学修支援等

（概要）
・担任、学科長との個別面談
・カウンセラーによるカウンセリングの実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
54 人 (100%)	0 人 (　　%)	43 人 (　　%)	11 人 (　　%)

（主な就職、業界等）
株式会社サウンドクルー、株式会社 free mova、有限会社ギアハウス

（就職指導内容）
模擬面接，履歴書作成指導，適性試験対策指導，　関連業界企業による業界説明会

（主な学修成果（資格・検定等））
舞台機構調整技能士、ビジネス能力検定ジョブパス

（備考）（任意記載事項）
『生徒実員』、卒業者数の割合及び中途退学者数の割合はミュージックスタッフ科全体の情報です。
「専修学校設置基準の一部を改正する省令附則第２条」に基づき令和７年度入学の在学者については、なお従前の例により、修了要件を総単位数９４単位として教育課程を編成・実施しています。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
109 人	5 人	4.5%
（中途退学の主な理由） 進路変更、精神的理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・定期的に保護者宛に出席状況の文書を発送している。 ・出席不良になる手前での面談（担任または課長、副校長）を実施。また欠席時の保護者への連絡等を密に行い、家庭での声掛けなども含め学校保護者間とで状況を把握 している。 ・学生アンケートを実施している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	文化教養課程	声優科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
			単位時間/単位	4 単位時間/単位	32 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
2 年	昼	36 単位時間／単位	36 単位時間／単位				

学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
20 人	5 人	人	1 人	10 人	11 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
・企業委員も含む教育編成会議を実施して教育内容を検討する。
・実施前年度 9 月までに県へ学則変更を届け出て教育課程を確定する。
・授業方法・内容（使用教科書等含）について確認・検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、実施する前年度中に行う。
・シラバスを示し、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持って計画的に学習に取組めるようにする。

成績評価の基準・方法

（概要）
実技試験、筆記試験、出席率、通常授業態度等を総合的に評価し、5 割以上の評価（C 段階以上）で単位取得とする。

卒業・進級の認定基準

（概要）
・各授業科目において 4 分の 3 以上の出席をすること。
・一般教養科目、専門教育科目の必修科目を履修すること。
・卒業・進級判定会議において卒業・進級に相応しいと判断された者。

学修支援等

（概要）
・担任、課長、副校長との個別面談
・カウンセラーによるカウンセリングの実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
11 人（100%）	人（ %）	4 人（ 36.3%）	7 人（ 63.7%）

（主な就職、業界等）
声優養成所・芸能プロダクション

（就職指導内容）
オーディションの実施、一般就職希望の学生には面接・履歴書の指導を実施

（主な学修成果（資格・検定等））
ビジネス能力検定ジョブパス 3 級

（備考）（任意記載事項）
「令和８年度より募集停止し２年生のみ在籍。」

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
５人	０人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・定期的に保護者宛に出席状況の文書を発送している。 ・出席不良になる手前での面談（担任または課長、副校長）を実施。また欠席時の保護者への連絡等を密に行い、家庭での声掛けなども含め学校保護者間とで状況を把握している。 ・学生アンケートを実施している。		

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td>専門士</td><td>高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">工業</td><td>工業専門課程</td><td colspan="2">イラスト・マンガアニメ科
イラスト・マンガ専攻</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2年</td><td rowspan="2">昼間</td><td rowspan="2">69 単位</td><td>8 単位</td><td>単位</td><td>61
単位</td><td>単位</td><td>単位</td></tr>
<tr><td colspan="5">69 単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">学生総定員数</td><td>学生実員</td><td>うち留学生数</td><td>専任教員数</td><td>兼任教員数</td><td>総教員数</td></tr>
<tr><td colspan="2">40 人</td><td>59 人</td><td>0 人</td><td>3 人</td><td>7 人</td><td>10 人</td></tr>
</table>

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・企業委員も含む教育編成会議を実施して教育内容を検討する。 ・実施前年度 9 月に変更があれば県へ学則変更を届け出て教育課程を確定する。 ・授業方法・内容（使用教科書等含）について確認・検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、実施する前年度中に行う。 ・シラバスを示し、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持って計画的に学習に取組めるようにする。
成績評価の基準・方法
（概要） 実技試験、筆記試験、出席率、通常授業態度等を総合的に評価し、5 割以上の評価（C 段階以上）で単位取得とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） ・各授業科目において 4 分の 3 以上の出席をすること。 ・一般教養科目、専門教育科目の必修科目を履修すること。 ・卒業・進級判定会議において卒業・進級に相応しいと判断された者。
学修支援等
（概要） ・担任、課長、副校長との個別面談 ・カウンセラーによるカウンセリングの実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
27 人 （100%）	0 人 （0%）	15 人 （55.6%）	12 人 （44.4%）
（主な就職、業界等） (株)旭プロダクション、(株)SHAFT、(株)GREEP(グリープ) (株)ヨークベニマル、(株)BREXA Next、(株)シャトレーゼ			
（就職指導内容） 出版社批評会、 模擬面接，履歴書作成指導，適性試験対策指導，　関連業界企業による業界説明会			

（主な学修成果（資格・検定等）） 似顔絵検定
（備考）（任意記載事項） 『生徒実員』、卒業者数の割合及び中途退学者数の割合はイラスト・マンガアニメ科全体の情報です。 「専修学校設置基準の一部を改正する省令附則第 2 条」に基づき令和 7 年度入学の在学者については、なお従前の例により、修了要件を総授業時数 1890 時間として教育課程を編成・実施しています。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
61 人	10 人	16.4%
（中途退学の主な理由） 経済事情、病気療養のため、家庭事情		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・定期的に保護者宛に出席状況の文書を発送している。 ・出席不良になる手前での面談（担任または課長、副校長）を実施。また欠席時の保護者への連絡等を密におこない、家庭での声掛けなども含め学校保護者間とで状況を把握 している。 ・学生アンケートを実施している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士
工業		工業専門課程	イラスト・マンガアニメ科 アニメーター専攻	○	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類		
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	70 単位	8 単位	単位	62 単位	単位	単位
			70 単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40 人	59 人	0 人	3 人	7 人	10 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・企業委員も含む教育編成会議を実施して教育内容を検討する。 ・実施前年度 9 月に変更があれば県へ学則変更を届け出て教育課程を確定する。 ・授業方法・内容（使用教科書等含）について確認・検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、実施する前年度中に行う。 ・シラバスを示し、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持って計画的に学習に取組めるようにする。
成績評価の基準・方法
（概要） 実技試験、筆記試験、出席率、通常授業態度等を総合的に評価し、5 割以上の評価（C 段階以上）で単位取得とする。

卒業・進級の認定基準
（概要） ・各授業科目において４分の３以上の出席をすること。 ・一般教養科目、専門教育科目の必修科目を履修すること。 ・卒業・進級判定会議において卒業・進級に相応しいと判断された者。
学修支援等
（概要） ・担任との個別面談 ・カウンセラーによるカウンセリングの実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
27 人 （100%）	0 人 （0%）	15 人 （55.6%）	12 人 （44.4%）
（主な就職、業界等） (株)旭プロダクション、(株)SHAFT、(株)GREEP(グリープ) (株)ヨークベニマル、(株)BREXA Next、(株)シャトレーゼ			
（就職指導内容） 出版社批評会、 模擬面接，履歴書作成指導，適性試験対策指導，　関連業界企業による業界説明会			
（主な学修成果（資格・検定等）） 似顔絵検定			
（備考）（任意記載事項） 『生徒実員』、卒業者数の割合及び中途退学者数の割合はイラスト・マンガアニメ科全体の情報です。 「専修学校設置基準の一部を改正する省令附則第２条」に基づき令和７年度入学の在学者については、なお従前の例により、修了要件を総授業時数 2070 時間として教育課程を編成・実施しています。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
61 人	10 人	16.4%
（中途退学の主な理由） 経済事情、病気療養のため、家庭事情		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・定期的に保護者宛に出席状況の文書を発送している。 ・出席不良になる手前での面談（担任または課長、副校長）を実施。また欠席時の保護者への連絡等を密におこない、家庭での声掛けなども含め学校保護者間とで状況を把握 している。 ・学生アンケートを実施している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
工業	工業専門課程	ゲームクリエイター科 ゲームプランナー専攻	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼間	154 単位	132 単位		22 単位		
			154 単位				

学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
60 人	48 人	1 人	3 人	3 人	6 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
・企業委員も含む教育編成会議を実施して教育内容を検討する。
・実施前年度 9 月に変更があれば県へ学則変更を届け出て教育課程を確定する。
・授業方法・内容（使用教科書等含）について確認・検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、実施する前年度中に行う。
・シラバスを示し、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持って計画的に学習に取組めるようにする。

成績評価の基準・方法

（概要）
実技試験、筆記試験、出席率、通常授業態度等を総合的に評価し、5 割以上の評価（C 段階以上）で単位取得とする。

卒業・進級の認定基準

（概要）
・各授業科目において 4 分の 3 以上の出席をすること。
・一般教養科目、専門教育科目の必修科目を履修すること。
・卒業・進級判定会議において卒業・進級に相応しいと判断された者。

学修支援等

（概要）
・担任、課長、副校長との個別面談
・カウンセラーによるカウンセリングの実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (100%)	0 人 (　　%)	0 人 (　　%)	0 人 (　　%)

（主な就職、業界等）
＊令和 8 年度に卒業生を輩出予定

（就職指導内容）
模擬面接，履歴書作成指導，適性試験対策指導，　関連業界企業による業界説明会

（主な学修成果（資格・検定等）） 文部科学省後援　情報検定、文部科学省後援ビジネス能力検定ジョブパス
（備考）（任意記載事項） 『生徒実員』、卒業者数の割合及び中途退学者数の割合はゲームクリエイター科全体の情報です。 「専修学校設置基準の一部を改正する省令附則第 2 条」に基づき令和 7 年度入学の在学者については、なお従前の例により、修了要件を総授業時数 2640 時間として教育課程を編成・実施しています。 「令和 6 年度から修業年限を 2 年から 3 年に変更し完成年度に達していないため卒業者データなし。」

1 年次

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19 人	1 人	5.3%
（中途退学の主な理由） 家庭的な事情よる		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・定期的に保護者宛に出席状況の文書を発送している。 ・出席不良になる手前での面談（担任または課長、副校長）を実施。 また欠席時の保護者への連絡等を密におこない、家庭での声掛けなども含め、 学校保護者間とで状況を把握している。 ・学生アンケートを実施している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
工業	工業専門課程	ゲームクリエイター科 ゲームプログラマ専攻	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼間	154 単位	132 単位		22 単位		

学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
60 人	48 人	1 人	3 人	3 人	6 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
・企業委員も含む教育編成会議を実施して教育内容を検討する。
・実施前年度 9 月に変更があれば県へ学則変更を届け出て教育課程を確定する。
・授業方法・内容（使用教科書等含）について確認・検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、実施する前年度中に行う。
・シラバスを示し、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持って計画的に学習に取組めるようにする。

成績評価の基準・方法

（概要）
実技試験、筆記試験、出席率、通常授業態度等を総合的に評価し、5 割以上の評価（C 段階以上）で単位取得とする。

卒業・進級の認定基準

（概要）
・各授業科目において 4 分の 3 以上の出席をすること。
・一般教養科目、専門教育科目の必修科目を履修すること。
・卒業・進級判定会議において卒業・進級に相応しいと判断された者。

学修支援等

（概要）
・担任、課長、副校長との個別面談
・カウンセラーによるカウンセリングの実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 （100%）	0 人 （　　%）	0 人 （　　%）	0 人 （　　%）

（主な就職、業界等）
＊令和 8 年度に卒業生を輩出予定

（就職指導内容）
模擬面接，履歴書作成指導，適性試験対策指導，　関連業界企業による業界説明会

（主な学修成果（資格・検定等）） 文部科学省後援　情報検定、文部科学省後援ビジネス能力検定ジョブパス
（備考）（任意記載事項） 『生徒実員』、卒業者数の割合及び中途退学者数の割合はゲームクリエイター科全体の情報です。 「専修学校設置基準の一部を改正する省令附則第 2 条」に基づき令和 7 年度入学の在学者については、なお従前の例により、修了要件を総授業時数 2640 時間として教育課程を編成・実施しています。 「令和 6 年度から修業年限を 2 年から 3 年に変更し完成年度に達していないため卒業者データなし。」

1 年次

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19 人	1 人	5.3%
（中途退学の主な理由） 家庭的な事情よる		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・定期的に保護者宛に出席状況の文書を発送している。 ・出席不良になる手前での面談（担任または課長、副校長）を実施。 また欠席時の保護者への連絡等を密におこない、家庭での声掛けなども含め、 学校保護者間とで状況を把握している。 ・学生アンケートを実施している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
工業	工業専門課程	CG クリエイター科 CG 動画クリエイター専攻	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼間	75 単位	12 単位	単位	63 単位	単位	単位
			75 単位				

学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40 人	27 人	0 人	4 人	5 人	9 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
・企業委員も含む教育編成会議を実施して教育内容を検討する。
・実施前年度 9 月までに県へ学則変更を届け出て教育課程を確定する。
・授業方法・内容（使用教科書等含）について確認・検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、実施する前年度中に行う。
・シラバスを示し、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持って計画的に学習に取組めるようにする。

成績評価の基準・方法

（概要）実技試験、筆記試験、出席率、通常授業態度等を総合的に評価し、5 割以上の評価（C 段階以上）で単位取得とする。

卒業・進級の認定基準

（概要）
・各授業科目において 4 分の 3 以上の出席をすること。
・一般教養科目、専門教育科目の必修科目を履修すること。
・卒業・進級判定会議において卒業・進級に相応しいと判断された者。

学修支援等

（概要）
・担任、課長、副校長との個別面談
・カウンセラーによるカウンセリングの実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
12 人 （100%）	0 人 （ 0%）	10 人 （83.3%）	2 人 （16.7%）

（主な就職、業界等）
(株)The New Gate、(株)BREXA Next

（就職指導内容）
・企業応募用作品制作指導、ポートフォリオ制作指導、コンテスト応募作品制作指導
・履歴書等作成指導，面接指導，就活計画立案指導、関連業界企業の学内企業説明会開催

（主な学修成果（資格・検定等）） CG クリエイター検定 ベーシック/エキスパート
（備考）（任意記載事項） 『生徒実員』、卒業者数の割合及び中途退学者数の割合は CG クリエイター科全体の情報です。 「専修学校設置基準の一部を改正する省令附則第 2 条」に基づき令和 7 年度入学の在学者については、なお従前の例により、修了要件を総授業時数 2160 時間として教育課程を編成・実施しています。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
27 人	3 人	11.1%
（中途退学の主な理由） 療養に専念するため		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・定期的に保護者宛に出席状況の文書を発送している。 ・出席不良になる手前での面談（担任または課長、副校長）を実施。また欠席時の保護者への連絡等を密におこない、家庭での声掛けなども含め学校保護者間とで状況を把握 している。 ・学生アンケートを実施している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
工業	工業専門課程	CG クリエイター科 ３Ｄモデラー専攻	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼間	75 単位	12 単位	単位	63 単位	単位	単位
			75 単位				

学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40 人	27 人	0 人	4 人	5 人	9 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
・企業委員も含む教育編成会議を実施して教育内容を検討する。
・実施前年度９月までに県へ学則変更を届け出て教育課程を確定する。
・授業方法・内容（使用教科書等含）について確認・検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、実施する前年度中に行う。
・シラバスを示し、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持って計画的に学習に取組めるようにする。

成績評価の基準・方法

（概要）実技試験、筆記試験、出席率、通常授業態度等を総合的に評価し、５割以上の評価（C 段階以上）で単位取得とする。

卒業・進級の認定基準

（概要）
・各授業科目において４分の３以上の出席をすること。
・一般教養科目、専門教育科目の必修科目を履修すること。
・卒業・進級判定会議において卒業・進級に相応しいと判断された者。

学修支援等

（概要）
・担任、課長、副校長との個別面談
・カウンセラーによるカウンセリングの実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
12 人 (100%)	0 人 (0%)	10 人 (83.3%)	2 人 (16.7%)

（主な就職、業界等）
(株)スパロー、(株)BREXA Next、株式会社マクシスエンジニアリング

（就職指導内容）
・企業応募用作品制作指導、ポートフォリオ制作指導、コンテスト応募作品制作指導
・履歴書等作成指導，面接指導，就活計画立案指導、関連業界企業の学内企業説明会開

催（就職指導内容）
（主な学修成果（資格・検定等）） CG クリエイター検定 ベーシック/エキスパート
（備考）（任意記載事項） 『生徒実員』、卒業者数の割合及び中途退学者数の割合は CG クリエイター科全体の情報です。 「専修学校設置基準の一部を改正する省令附則第 2 条」に基づき令和 7 年度入学の在学者については、なお従前の例により、修了要件を総授業時数 2160 時間として教育課程を編成・実施しています。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
27 人	3 人	11.1%
（中途退学の主な理由） 療養に専念するため		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・定期的に保護者宛に出席状況の文書を発送している。 ・出席不良になる手前での面談（担任または課長、副校長）を実施。また欠席時の保護者への連 絡等を密におこない、家庭での声掛けなども含め学校保護者間とで状況を把握 している。 ・学生アンケートを実施している。		

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td>専門士</td><td>高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">工業</td><td>工業専門課程</td><td colspan="2">デザイン科
Web デザイン専攻</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2 年</td><td rowspan="2">昼間</td><td rowspan="2">80 単位</td><td>30 単位</td><td>50 単位</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">80 単位</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学生総定員数</td><td>学生実員</td><td>うち留学生数</td><td>専任教員数</td><td>兼任教員数</td><td>総教員数</td></tr>
<tr><td>40 人</td><td>44 人の内数</td><td>人</td><td>1 人の内数</td><td>15 人の内数</td><td>16 人の内数</td></tr>
</table>

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
・企業委員も含む教育編成会議を実施して教育内容を検討する。
・実施前年度 9 月に変更があれば県へ学則変更を届け出て教育課程を確定する。
・授業方法・内容（使用教科書等含）について確認・検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、実施する前年度中に行う。
・シラバスを示し、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持って計画的に学習に取組めるようにする。

成績評価の基準・方法

（概要）
実技試験、筆記試験、出席率、通常授業態度等を総合的に評価し、5 割以上の評価（C 段階以上）で単位取得とする。

卒業・進級の認定基準

・各授業科目において 4 分の 3 以上の出席をすること。
・一般教養科目、専門教育科目の必修科目を履修すること。
・卒業・進級判定会議において卒業・進級に相応しいと判断された者。

学修支援等

（概要）
・担任、課長、副校長との個別面談
・カウンセラーによるカウンセリングの実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

<table>
<tr><td>卒業者数</td><td>進学者数</td><td>就職者数
（自営業を含む。）</td><td>その他</td></tr>
<tr><td>18 人
（100%）</td><td>3 人
（16.6%）</td><td>12 人
（66.6%）</td><td>3 人
（16.6%）</td></tr>
</table>

（主な就職、業界等）
SENSE、アビリブ、㈱アイリスオーヤマ、㈱メンバーズ、㈱日本マイクロニクス、津軽印刷㈱、仙台宝印刷㈱、㈱波デザイン、デザイン業界・印刷業界他

（就職指導内容）
模擬面接，履歴書作成指導，適性試験対策指導，　関連業界企業による業界説明会

（主な学修成果（資格・検定等））
バンフーデザインコンテスト最優秀賞、色彩検定など

（備考）（任意記載事項）
『生徒実員』、卒業者数の割合及び中途退学者数の割合はデザイン科全体の情報です。
「専修学校設置基準の一部を改正する省令附則第２条」に基づき令和７年度入学の在学者については、なお従前の例により、修了要件を総授業時数 2160 時間として教育課程を編成・実施しています。

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
46 人	2 人	4.3%

（中途退学の主な理由）
怠学や精神的な理由で登校できず等

（中退防止・中退者支援のための取組）
・定期的に保護者宛に出席状況の文書を発送している。
・出席不良になる手前での面談（担任または課長、副校長）を実施。また欠席時の保護者への連絡等を密におこない、家庭での声掛けなども含め学校保護者間とで状況を把握 している。
・学生アンケートを実施している。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
工業	工業専門課程	デザイン科 グラフィックデザイン専攻	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼間	84 単位	34 時間	50 時間			
			84 単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40 人	44 人の内数	人	1 人の内数	15 人の内数	16 人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）
・企業委員も含む教育編成会議を実施して教育内容を検討する。
・実施前年度９月に変更があれば県へ学則変更を届け出て教育課程を確定する。
・授業方法・内容（使用教科書等含）について確認・検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、実施する前年度中に行う。
・シラバスを示し、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持って計画的に学習に取組めるようにする。

成績評価の基準・方法
（概要）
実技試験、筆記試験、出席率、通常授業態度等を総合的に評価し、5 割以上の評価（C 段階以上）で単位取得とする。

卒業・進級の認定基準

・各授業科目において４分の３以上の出席をすること。 ・一般教養科目、専門教育科目の必修科目を履修すること。 ・卒業・進級判定会議において卒業・進級に相応しいと判断された者。
学修支援等
（概要） ・担任、課長、副校長との個別面談 ・教頭・カウンセラーによるカウンセリングの実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18 人 （100%）	3 人 （16.6%）	12 人 （66.6%）	3 人 （16.6%）
（主な就職、業界等） SENSE、アビリブ、㈱アイリスオーヤマ、㈱メンバーズ、㈱日本マイクロニクス、津軽印刷㈱、仙台宝印刷㈱、㈱波デザイン、デザイン業界・印刷業界他			
（就職指導内容） 模擬面接，履歴書作成指導，適性試験対策指導，　関連業界企業による業界説明会			
（主な学修成果（資格・検定等）） バンフーデザインコンテスト最優秀賞、色彩検定など			
（備考）（任意記載事項） 『生徒実員』、卒業者数の割合及び中途退学者数の割合はデザイン科全体の情報です。 「専修学校設置基準の一部を改正する省令附則第２条」に基づき令和７年度入学の在学者については、なお従前の例により、修了要件を総授業時数 2160 時間として教育課程を編成・実施しています。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
46 人	2 人	4.3%
（中途退学の主な理由） 怠学や精神的な理由で登校できず等		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・定期的に保護者宛に出席状況の文書を発送している。 ・出席不良になる手前での面談（担任または教頭）を実施。また欠席時の保護者への連絡等を密におこない、家庭での声掛けなども含め学校保護者間とで状況を把握 している。 ・学生アンケートを実施している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
工業	工業専門課程	デザイン科 映像デザイン専攻	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼間	86 単位	36 単位	50 単位			
			86 単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40 人	44 人の内数	人	1 人の内数	15 人の内数	16 人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
・企業委員も含む教育編成会議を実施して教育内容を検討する。
・実施前年度 9 月に変更があれば県へ学則変更を届け出て教育課程を確定する。
・授業方法・内容（使用教科書等含）について確認・検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、実施する前年度中に行う。
・シラバスを示し、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持って計画的に学習に取組めるようにする。

成績評価の基準・方法

（概要）
実技試験、筆記試験、出席率、通常授業態度等を総合的に評価し、5 割以上の評価（C 段階以上）で単位取得とする。

卒業・進級の認定基準

・各授業科目において 4 分の 3 以上の出席をすること。
・一般教養科目、専門教育科目の必修科目を履修すること。
・卒業・進級判定会議において卒業・進級に相応しいと判断された者。

学修支援等

（概要）
・担任、課長、副校長との個別面談
・教頭・カウンセラーによるカウンセリングの実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18 人 （100%）	3 人 （16.6%）	12 人 （16.6%）	3 人 （16.65%）

（主な就職、業界等）
SENSE、アビリブ、㈱アイリスオーヤマ、㈱メンバーズ、㈱日本マイクロニクス、津軽印刷㈱、仙台宝印刷㈱、㈱波デザイン、デザイン業界・印刷業界他

（就職指導内容）
模擬面接，履歴書作成指導，適性試験対策指導，　関連業界企業による業界説明会

（主な学修成果（資格・検定等）） バンフーデザインコンテスト最優秀賞、色彩検定など
（備考）（任意記載事項） 『生徒実員』、卒業者数の割合及び中途退学者数の割合はデザイン科全体の情報です。 「専修学校設置基準の一部を改正する省令附則第 2 条」に基づき令和 7 年度入学の在学者については、なお従前の例により、修了要件を総授業時数 2160 時間として教育課程を編成・実施しています。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
46 人	2 人	4.3%
（中途退学の主な理由） 怠学や精神的な理由で登校できず等		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・定期的に保護者宛に出席状況の文書を発送している。 ・出席不良になる手前での面談（担任または教頭）を実施。また欠席時の保護者への連絡等を密におこない、家庭での声掛けなども含め学校保護者間とで状況を把握 している。 ・学生アンケートを実施している。		

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料（年間）	その他	備考（任意記載事項）
応用情報システム科	120,000 円	670,000 円	430,000 円	その他は「施設設備整備費」「教材実習費」の合計値です
ＩＴソリューション科	120,000 円	670,000 円	430,000 円	その他は「施設設備整備費」「教材実習費」の合計値です
ミュージックスタッフ科	120,000 円	700,000 円	440,000 円	その他は「施設設備整備費」「教材実習費」の合計値です
イラスト・マンガアニメ科	120,000 円	700,000 円	450,000 円	その他は「施設設備整備費」「教材実習費」の合計値です
ゲームクリエイター科	120,000 円	700,000 円	480,000 円	その他は「施設設備整備費」「教材実習費」の合計値です
ＣＧクリエイター科	120,000 円	700,000 円	480,000 円	その他は「施設設備整備費」「教材実習費」の合計値です
デザイン科	120,000 円	700,000 円	480,000 円	その他は「施設設備整備費」「教材実習費」の合計値です
修学支援（任意記載事項）				
・特待生制度　各種優遇制度　独自奨学金制度等で授業料から減免を行なっている。				

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 下記ホームページアドレスで情報公開 https://das.ac.jp/schoolinfo/shugaku/
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）
学校法人菅原学園専門学校デジタルアーツ仙台が、実践的かつ専門的な職業教育にかかる活動等を評価し、その自己評価結果を企業等の役職員及び学校関係者と　評価することにより、学生等が関係業界等のニーズを踏まえた質の高い職業教育を享受することを目的として、学校関係者評価委員会を設け、企業と連携をとり学校運営、教育活動に最大限反映させ、その内容を公開する。
学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
株式会社 オンサイト　代表取締役	令和８年４月１日 ～令和９年３月 31 日（1 年）	企業等委員
株式会社ＥＡＭ　代表取締役	令和８年４月１日 ～令和９年３月 31 日（1 年）	企業等委員
岩手県立大学ソフトウェア情報学部名誉教授	令和８年４月１日 ～令和９年３月 31 日（1 年）	学会学術機関委員
株式会社　東北共立 代表取締役	令和８年４月１日 ～令和９年３月 31 日（1 年）	企業等委員
株式会社メディアＰＲ 代表取締役	令和８年４月１日 ～令和９年３月 31 日（1 年）	企業等委員
公益社団法人定禅寺ストリートジャズフェスティバル協会代表理事	令和８年４月１日 ～令和９年３月 31 日（1 年）	業界団体
株式会社ＢＢグラフィクス　代表取締役	令和８年４月１日 ～令和９年３月 31 日（1 年）	企業等委員

本町商店振興組合理事長	令和８年４月１日 ～令和９年３月 31 日（1 年）	町内会
卒業生（会社役員）	令和８年４月１日 ～令和９年３月 31 日（1 年）	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 下記ホームページアドレスで情報公開 https://das.ac.jp/schoolinfo/shugaku/		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

ｃ）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://das.ac.jp/

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H104391010027
学校名（○○大学 等）	専門学校デジタルアーツ仙台
設置者名（学校法人○○学園 等）	学校法人菅原学園

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		100 人（ 44 ）人	89 人（ 36 ）人	100 人（ 44 ）人
内訳	第Ⅰ区分	28 人	30 人	
	（うち多子世帯）	（ － 人）	（ － 人）	
	第Ⅱ区分	11 人	14 人	
	（うち多子世帯）	（ 0 人）	（ － 人）	
	第Ⅲ区分	18 人	7 人	
	（うち多子世帯）	（ － 人）	（ － 人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	－ 人	－ 人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	16 人	－ 人	
	区分外（多子世帯）	19 人	19 人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0 人（ 0 ）人
合計（年間）				100 人（ 44 ）人
（備考）				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）第４条第２項第１号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第２号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0 人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	－
修得単位数が「廃止」の基準に該当	0人	0人	－
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	－
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	0人	－
計	0人	0人	－
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
３月以上の停学	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

（１）停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
ＧＰＡ等が下位４分の１	0人	0人	0人

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	0人	0人	0人
ＧＰＡ等が下位４分の１	－	－	－
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	－	－
計	－	－	－
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。